

全国大会競技問題 (2009. 7. 26)

[I] 関連用語と情報活用

(解答時間 問題【1】、【2】、【3】、【4】とあわせて40分)

注意事項

- (1) 筆記用具は、鉛筆またはシャープペンシルと消しゴムです。
- (2) 筆記用具などの物品の貸借はできません。
- (3) 電卓は使用できません。
- (4) 解答は明瞭に記入してください。
- (5) 答案を訂正する場合は、消しゴムではっきり消してください。
- (6) 答案作成が終わっても、着席したまま静かにしてください。
- (7) 途中で気分が悪くなった場合は、手をあげて係員に知らせてください。

【注意】 係員の指示があるまで、問題に手を触れないでください。

【1】 次の文に最も関連の深い語を解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 電源用コンセントに通信用アダプタを取り付け、電力線をそのままLANのケーブルとして活用し、ネットワーク接続を可能にする技術。

ア ECC イ DSU ウ PLC エ PCM

2. 2枚のガラス基板の間に発光用のガスを入れ、そのガスに高電圧をかけて発光するディスプレイ。コントラストが高く視野角が広いが、消費電力が大きいためノート型パソコンなどにおけるバッテリー駆動での利用には適さない。

ア 有機EL イ PDP ウ TFT エ DSTN

3. 世界各国の言語体系の文字を共通の符号化文字集合で利用できるようにという考えで作られ、ISOで標準化された文字コード体系。

ア Unicode イ EUC ウ JISコード エ ASCIIコード

4. OSIの7階層のうち、物理層レベルでLANを接続する装置。

ア ゲートウェイ イ ルータ ウ ブリッジ エ リピータ

5. メールサーバから電子メールを受信するためのプロトコル。メールをサーバに残したまま閲覧することができるので、メールに依存することなく、タイトルや発信者を確認したうえで、必要なメールだけを受信することができる。

ア POP イ ARP ウ IMAP エ ICMP

6. 電子出版物などの大規模な文書作成に利用されるマークアップ言語。文書構造をタグで記述する。

ア HTML イ SGML ウ XML エ PDF

7. 既存のプログラムを解析し、その仕組みや仕様などを明らかにする技法。新規のプログラム開発のための仕様書を作成する場合などに用いられる。

ア ファンクションポイント法 イ フォワードエンジニアリング
ウ リファクタリング エ リバースエンジニアリング

8. コンピュータシステムを二重に用意して同一の処理を行い、双方の処理結果を照合することにより処理の信頼性が向上する方式。

ア デュプレックスシステム イ タンデムシステム
ウ デュアルシステム エ ロードシェアシステム

9. 問題解決手法に関する説明のうち、最も適切なものを選びなさい。

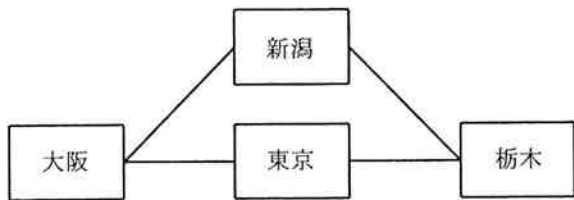
ア 散布図上の回帰直線の傾きやY切片の値などから、二つの事象の関係を分析することができる。
イ 管理図の活用は、システム開発の進捗管理をするために有効である。
ウ ヒストグラムを用いると、原因と結果の関連を体系的に整理することができる。
エ 重点管理対象の商品を選定するためには、デシジョンテーブルを活用してABC分析を行うとよい。

10. 企業活動を行う上で、各種の法令や規則などのルールをはじめ、社会的規範、企業倫理などを守ること。

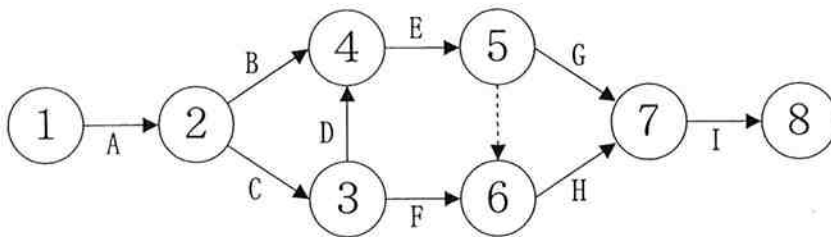
ア コーポレートガバナンス イ コアコンピタンス
ウ ガイドライン エ コンプライアンス

【2】 次の各問いに答えなさい。

1. アルファベットの大きい文字 (A～Z) および数字 (0～9) 1文字を表現する文字コードを作成する場合、少なくとも何ビット必要になるか。
2. アクセス時間10ナノ秒のキャッシュメモリとアクセス時間50ナノ秒の主記憶装置を使用した処理装置の実効アクセス時間は何ナノ秒になるか。ただし、キャッシュメモリのヒット率を70%とする。
3. 30GBのハードディスク装置を用いてファイルサーバを構築する。RAID5の設定で実記憶容量を100GB以上とする場合、ハードディスク装置は最低限何台必要になるか。
4. 次の図のような通信回線の大阪・栃木間の回線稼働率を求めなさい。ただし、すべての回線の稼働率は0.9とし、計算の最終で小数第2位未満を切り捨てる。



5. ある業務の作業日数は次の通りである。作業を3日間短縮するためには、Dの作業を少なくとも何日に短縮すればよいか。



各作業日数 : A (5) B (3) C (5) D (10) E (5) F (12) G (3) H (6) I (2)

6. 10個のデータをバブルソートで整列するとき、データの比較回数は何回になるか。
7. 8ビットの文字を、伝送速度9,600bpsの回線を使用して調歩同期方式で伝送すると、1分間で伝送できる文字数は何文字か求めなさい。ただし、伝送効率は80%、スタートビットとストップビットのビット長はそれぞれ1ビットとする。
8. 次の資料をもとに、損益分岐点における売上高を計算しなさい。

売上高	¥1,000,000	利益	¥100,000
固定費	¥100,000	変動費	¥800,000

9. 次の手順で求められるチェックディジットを付けたコードを求めなさい。
 データ 13714 重み付け定数 12345 基数 11
 手順 重み付け定数とデータの各けたの積を求め、和を求める。
 和を基数で除し、その余りの1の位をデータの末尾に付加する。
10. 次の磁気ディスク装置に記録されている1ブロックあたりのデータを読み取る平均アクセス時間を求めなさい。
 ただし、1ブロックに2,000バイト 回転速度 6,000回転/分
 1トラックあたりの記憶容量 10,000バイト 平均シーク時間 30ミリ秒

【3】 次の(1), (2)の問題を解きなさい。

(1) 次の表は、ある町の少年サッカーリーグの試合結果である。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「試合結果表」

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

1	試合結果表	チーム		得点		勝ち点	
2	試合番号	HT	AT	HT	AT	HT	AT
3	G0102	T01	T02	2	4	0	3
4	G0103	T01	T03	2	3	0	3
5	G0104	T01	T04	2	2	1	1
6	G0105	T01	T05	3	5	0	3
7	G0106	T01	T06	2	2	1	1
8	}	}	}	}	}	}	}
32	G0605	T06	T05	3	1	3	0

シート名「成績一覧表」

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

1	成績一覧表							
2	順位	チーム	勝ち点	得失点差	総得点	判定値	一意値	表示行B
3	5	T01	8	-11	28	222	53	5
4	2	T02	18	9	39	454	24	2
5	2	T03	18	9	39	454	25	3
6	4	T04	16	3	31	333	46	4
7	6	T05	6	-16	25	111	67	6
8	1	T06	22	6	39	644	18	1

シート名「順位一覧表」

A	B	C	D	E	F
---	---	---	---	---	---

1	順位一覧表					
2	順位	チーム	勝ち点	得失点差	総得点	表示行A
3	1	T06	22	6	39	6
4	2	T02	18	9	39	2
5	2	T03	18	9	39	3
6	4	T04	16	3	31	4
7	5	T01	8	-11	28	1
8	6	T05	6	-16	25	5

処理条件

1. シート名「試合結果表」の内容は、次のとおりである。

- ① チームは、「T01」から「T06」までの6チームあり、すべてのチームは、通常使用する球技場（以下、ホームという）をもつ。各チームは、自チーム以外のすべてのチームとホームで1ゲームずつ試合を行う。ホーム以外をアウェイという。「得点(HT)」、「得点(AT)」のそれぞれには、ホームのチーム(HT)とアウェイのチーム(AT)の対戦結果（それぞれの得点）を入力する。
- ② 試合番号は入力済みである。
- ③ 「勝ち点(HT)」および「勝ち点(AT)」は、勝ちチームに対して3点、負けチームに対して0点を、引分けの場合は両チームにそれぞれ1点を付与する。

2. シート名「成績一覧表」の内容は、次のとおりである。

- ① 「チーム番号」は入力済みである。
- ② 「勝ち点」には、当該チームの勝ち点の合計を求める。
- ③ 「得失点差」には、当該チームの得点の合計と対戦チームの得点（失点）の合計の差を求める。
- ④ 「総得点」には、当該チームの得点の合計を求める。
- ⑤ 当該行のチームの「順位」は、次のように決定する。
 - ・「勝ち点」が最も多いチーム、「勝ち点」が同じ場合は「得失点差」がより多いチーム、「得失点差」も同じ場合は「総得点」がより多いチームとする。これらがすべて同じ場合は、同順位とする。
 - ・当該行のチームの順位を求めるため、「判定値」を次の式で求める。

$$\text{判定値} = \text{勝ち点の昇順順位} \times 100 + \text{得失点差の昇順順位} \times 10 + \text{総得点の昇順順位}$$

- ⑥ シート名「順位一覧表」に一意値順に行を並べ替えて表示するため、次の内容を設定する。ここで、同順位チームが存在する場合、「順位一覧表」は、行番号の小さい行のチーム順に表示する。
 - ・「一意値」は、「順位」に10を乗じ、当該行番号を加算した値である。
 - ・「表示行B」は、当該行をシート名「順位一覧表」に表示するための行位置を示す。

3. シート名「順位一覧表」の内容は、次のとおりである。

- ① 「表示行A」には、当該行に表示するシート名「成績一覧表」の行を表示する。
- ② 「順位」～「総得点」には、シート名「成績一覧表」から、当該シートの「表示行A」で示される行と、当該列の列番号で示す列が交差する内容を表示する。

設問1 シート名「試合結果表」のF3に設定する式の空欄(1)～(2)をうめなさい。ただし、この式をF3～G32にコピーする。

=IF([(1)] , 1, IF([(2)] , 3, 0))

解答群

ア \$D3=\$E3	イ \$D3>\$E3	ウ \$D3<\$E3
エ AVERAGE(\$D3:\$E3)=D3	オ MAX(\$D3:\$E3)=D3	カ MIN(\$D3:\$E3)=D3

設問2 シート名「成績一覧表」のC3に設定する式の空欄(1)～(4)をうめなさい。ただし、この式をC4～C8にコピーする。

=SUMIF(試合結果表! [(1)] , [(2)] , 試合結果表!\$F\$3:\$F\$32)
+SUMIF(試合結果表! [(3)] , [(2)] , 試合結果表! [(4)])

解答群

ア B3	イ C3	ウ G3
エ \$B\$3:\$B\$32	オ \$C\$3:\$C\$32	カ \$G\$3:\$G\$32

設問3 シート名「成績一覧表」のA3に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をA4～A8にコピーする。

= [(1)] ([(2)] , [(3)] , 0)

解答群

ア RANK	イ F\$3:F\$8	ウ F3
エ MATCH	オ G\$3:G\$8	カ G3

設問4 シート名「順位一覧表」のF3に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をF4～F8にコピーする。

= [(1)] (ROW()- [(2)] , [(3)] , 0)

※関数 ROW は、入力したセルの行番号を求める関数

書式 ROW()

解答群

ア RANK	イ 成績一覧表!\$A\$3:\$A\$8	ウ 1
エ MATCH	オ 成績一覧表!\$H\$3:\$H\$8	カ 2

設問5 シート名「順位一覧表」のA3に設定する式は複数の方法が考えられる。次の解答群のうち、正しい結果が求められない式を選び、記号で答えなさい。ただし、いずれの式もA3～E8にコピーする。

解答群

ア =INDEX(成績一覧表!\$A\$3:\$E\$8, \$F3, COLUMN())
イ =VLOOKUP(\$F3, 成績一覧表!\$A\$3:\$E\$8, COLUMN())
ウ =HLOOKUP(COLUMN(), 成績一覧表!\$A\$3:\$E\$8, \$F3)
エ =INDEX(成績一覧表!\$A\$3:\$E\$8, \$F3, MATCH(A\$2, 成績一覧表!\$A\$2:\$E\$2, 0))

※関数 COLUMN は、入力したセルの列番号を求める関数

書式 COLUMN()

(2) 次の表は、ある企業のアルバイトの給与明細表である。ワークシートの構成と処理条件にしたがって、各設問に答えなさい。

ワークシートの構成

シート名「6月」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	EX	EY	EZ	FA	FB	FC
1	出退勤表																
2			時給	時間外													
3			時給	時間外	1	2											
4	H2101	佐藤 大輔	1,100	1,400	13:00	21:00	13:00	21:00	1:00	8:00	17:00	1:00					
5	H2102	鈴木 拓也	1,000	1,250	9:00	17:00	8:50	19:20	1:00	13:00	21:00	1:30					
6	H2103	高橋 直樹	1,000	1,250	休					17:00	22:00	1:00					
23	H2120	清水 駿	900	1,150	9:00	17:00	8:30	17:30	1:00	9:00	12:00	2:00					
24																	
25																	

シート名「源泉所得税額表」

	A	B	C
1	源泉所得税額表		
2	以上	未満	税額
3	82,000	92,000	3,100
4	92,000	95,000	3,200
5	95,000	97,000	3,300
6	97,000	99,000	3,400
153	491,000	494,000	129,000
154	494,000	497,000	130,800
155	497,000	500,000	132,100

シート名「給与明細表」

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	給与明細表															
2			2009年													
3			6月													
4	ID	H2102														
5	名前	鈴木 拓也 殿														
7																
9	時給	1,000														
10	時間外時給	1,250														
12																
14	勤務日数	24														
15	休み	6														
16	遅刻	4														
17	早退	5														
18	勤務時間	126:15														
19	時間外	19:30														
21	給与支給額	126,250														
22	時間外手当	24,375														
23	源泉所得税額	8,500														
24	支給交通費	8,000														
26	差引支給額	150,125														
35	6月!\$A\$2:\$FC\$2															
36	6月!\$A\$4:\$FC\$25															

日勤表											
日付	曜日	定出	定退	出勤	退勤	休憩	勤怠	勤務時間	日給	時間外	時間外手当
1	月	9:00	17:00	8:50	19:20	1:00		7:00	7,000	2:15	2,813
2	火	13:00	21:00	12:00	21:30	1:30		6:30	6,500	1:30	1,875
3	水	13:00	21:00	12:00	18:00	1:00	早	4:00	4,000	1:00	1,250
4	木	13:00	21:00	12:30	21:20	1:00		7:00	7,000	0:30	625
5	金	17:00	22:00	17:00	22:00	1:00		4:00	4,000		0
6	土	13:00	21:00	12:00	21:30	1:30		6:30	6,500	1:30	1,875
7	日	休					休				
8	月	13:00	21:00	10:50	19:20	1:00	早	5:15	5,250	2:00	2,500
9	火	17:00	22:00	18:00	20:30	1:00	遅早	1:30	1,500		0
10	水	11:30	21:00	11:00	21:30	1:30		8:00	8,000	1:00	1,250
11	木	休					休				
12	金	13:00	21:00	12:40	21:00	1:00		7:00	7,000	0:15	313
13	土	9:00	17:00	9:00	17:00	1:00		7:00	7,000		0
14	日	13:00	21:00	12:00	21:30	1:30		6:30	6,500	-1:30	1,875
15	月	休					休				
16	火	17:00	22:00	18:00	22:00	1:00	遅	3:00	3,000		0
17	水	9:00	17:00	10:50	16:40	1:00	遅早	4:45	4,750		0
18	木	13:00	21:00	12:00	21:30	1:30		6:30	6,500	1:30	1,875
19	金	休					休				
20	土	13:00	21:00	10:50	20:20	1:00	早	6:15	6,250	2:00	2,500
21	日	17:00	22:00	17:00	22:00	1:00		4:00	4,000		0
22	月	17:00	22:00	17:00	22:30	1:30		3:30	3,500	0:30	625
23	火	休					休				
24	水	17:00	22:00	16:00	23:00	1:00		4:00	4,000	2:00	2,500
25	木	17:00	22:00	17:00	22:20	1:00		4:00	4,000	0:15	313
26	金	9:00	17:00	8:30	17:30	1:30		6:30	6,500	0:45	938
27	土	休					休				
28	日	17:00	22:00	18:00	23:00	1:00	遅	3:00	3,000	1:00	1,250
29	月	17:00	22:00	17:00	22:00	1:00		4:00	4,000		0
30	火	9:00	17:00	9:00	17:00	1:30		6:30	6,500		0
合計								126:15	126,250	19:30	24,375

処理条件

- シート名「6月」の2行目は日にちを表し、1か月の勤務予定として、「定出」に開始時刻、「定退」に終了予定時刻を予め入力し、毎日の出勤時刻、退勤時刻、休憩時間を「出勤」、「退勤」、「休憩」に入力する。
- シート名「給与明細表」の内容は、次のとおりである。
 - 「給与明細表」に「年」、「月」、「ID」を入力すると、個人の「日勤表」と「給与明細表」を作成する。
 - 「日勤表」について
 - 「日付」、「曜日」には、当該年月に応じて、日にちと曜日が表示されるよう設定する。
 - 「定出」、「定退」、「出勤」、「退勤」、「休憩」は、シート名「6月」の「出退勤表」を参照して求める。
 - 「勤怠」は、「定出」が休の場合は休、「定出」よりも「出勤」が遅い場合は遅、「定退」よりも「退勤」が早い場合は早を表示する。
 - 「勤務時間」は「定出」「定退」の範囲内での労働時間を求める。
 - 「日給」は、「勤務時間」にB9の「時給」を乗じて求める。
 - 「時間外」は、「定出」「定退」の範囲外の労働時間を求める。
 - P列の「時間外手当」は、「時間外」にB10の「時間外時給」を乗じて求める。

⑧ ④～⑦については、15分単位で計算し、15分に満たない時間は切り捨てる。

⑨ 34行目の「合計」は、M～P列の各列の合計を求める。

(3) 「給与明細表」について

① 「時給」, 「時間外時給」は、シート名「6月」の「出退勤表」を参照して求める。

② 「勤務日数」, 「休み」, 「遅刻」, 「早退」は、「日勤表」より計算して求める。

③ 「勤務時間」, 「時間外」, 「給与支給額」, 「時間外手当」は34行目の「合計」を参照する。

④ 「源泉所得税額」は、「給与支給額」と「時間外手当」の合計額をもとに、

¥88,000未満の場合： 合計額×3% (円未満切り捨て)

¥88,000以上の場合： シート名「源泉所得税額表」を参照

⑤ 「支給交通費」は、入力する。

⑥ 「差引支給額」は、「給与支給額」と「時間外手当」の合計から「源泉所得税額」を差し引き、「支給交通費」を加えて求める。

(4) A35, A36には、B3の月に応じた参照シートの切り替えに利用するため、次の式が入力されている。

A35: =B3&"月"!\$A\$2:\$FC\$2" A36: =B3&"月"!\$A\$4:\$FC\$25"

解答に使用できる演算子及び関数

四則演算子

+ - * /

比較演算子

= < > <= >=

関数

AND	CEILING	COUNTA	COUNTIF	DATE	DAY	FLOOR	HLOOKUP
IF	INDEX	MATCH	MAX	MIN	MONTH	OR	RANK
ROUND	ROUNDDOWN	ROUNDUP	SUM	SUMIF	VLOOKUP	WEEKDAY	YEAR

※別シートのセルを参照するときは、セル番号の前に「シート名!」をつけること。

上記以外の演算子及び関数を使用した解答は無効とする。

設問1 シート名「給与明細表」のE31に設定する式の空欄(1)～(4)をうめなさい。ただし、この式をE32～E33にコピーする。

=IF(E30="", "", IF(E30= [(1)] ([(2)] (\$B\$2, \$B\$3 [(3)] , 1) [(4)]), "", E30+1))

設問2 シート名「給与明細表」のK3に設定する式の空欄(1), (2)をうめなさい。ただし、この式をK4～K33にコピーする。

=IF(J3="", "",
VLOOKUP(\$B\$4, INDIRECT(\$A\$36), [(1)] ([(2)] , INDIRECT(\$A\$35), 0) + [(3)] , FALSE))

※関数INDIRECTは、指定セルに入力されている文字列を介して、間接的なセル参照を行う。

書式 INDIRECT(参照文字列)

設問3 シート名「給与明細表」のM3に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をM4～M33にコピーする。

=IF(OR(I3="", J3=""), "", [(1)] (MIN([(2)]) - MAX([(3)]) - K3, "0:15"))

設問4 シート名「給与明細表」のB15に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。ただし、この式をB16～B17にコピーする。

= [(1)] ([(2)] , [(3)] &LEFT(A15, 1) & [(3)])

設問5 シート名「給与明細表」のB23に設定する式の空欄(1)～(3)をうめなさい。

=IF([(1)] <88000, [(2)] ([(1)] *3%, 0),
[(3)] ([(1)] , 源泉所得税額表!\$A\$3:\$C\$327, 3, TRUE))

- 【4】 ある図書館では図書の貸出しをリレーショナル型データベースを用いて管理している。このデータベースについて各設問に答えなさい。

テーブルの構成

図書表

図書番号	図書名	著者名
------	-----	-----

図書一意表

図書番号	連番
------	----

会員表

会員番号	会員名	メールアドレス	住所
------	-----	---------	----

貸出表

会員番号	図書番号	連番	貸出日	返却日
------	------	----	-----	-----

処理条件

- 「図書番号」が同じ図書は複数冊あり、1冊の図書は、「図書番号」及び「連番」で識別される。
- 図書の貸出しには、会員登録が必要である。会員登録をすると会員カードが発行される。
- 会員は、図書館内から希望する図書を貸出係に提示して貸出しを受けることができる。
- 会員から図書の提示があると、その図書より「図書番号」及び「連番」を、また、会員がもつ会員カードより「会員番号」を読み取り、貸出表に行を追加し、「貸出日」には、当日の日付が設定される。なお、返却予定日を貸出日より7日後としている。
- 図書の貸出時に行が追加されるとき、「返却日」には NULL 値を格納する。
- 図書の返却時に、「返却日」に返却した日を格納する。
- 「貸出日」及び「返却日」は数値型で、西暦1900年1月1日を1とする通算日が格納される。それ以外はすべて文字型とする。

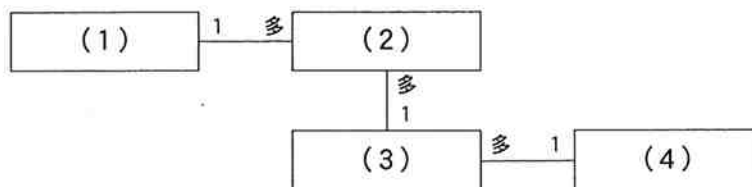
設問1 貸出表におけるすべての複合キー（行を一意に特定することができる列または列の組合せ）を解答群から選び、記号で答えなさい。

解答群

- ア 会員番号、図書番号、貸出日の組合せ
 イ 会員番号、図書番号、連番、貸出日の組合せ
 ウ 会員番号、図書番号、連番の組合せ
 エ 会員番号、図書番号、連番の組合せ、及び、図書番号、連番、貸出日の組合せ

設問2 テーブルの構成をもとにE-R図を作成した。作成したE-R図の空欄(1)～(4)にあてはまるテーブル名を解答群から選び、記号で答えなさい。

テーブルの構成をもとにしたE-R図



解答群

- ア 図書表 イ 図書一意表 ウ 会員表 エ 貸出表

設問3 貸出表に対して、図書の貸出時において行を追加するSQL文を作成した。空欄(1)、(2)をうめなさい。ここで、登録する会員番号、図書番号、連番及び貸出日は、それぞれ、'12345'、'23456'、'002'、40025(西暦2009年7月31日)である。

```
INSERT (1) 貸出表(会員番号, 図書番号, 連番, 貸出日)
(2) ('12345', '23456', '002', 40025)
```

設問4 西暦2009年8月1日(40026)現在で、返却予定日を過ぎても返却していない会員とその図書の一覧を次のように表示するためにSQL文を作成した。空欄(1)～(3)をうめなさい。

会員番号	会員名	メールアドレス	図書番号	図書名
10111	青木 ○○	aoki@●●.jp	31433	音楽の夕べ
21334	木下 □□	kino@■■.com	53112	楽しい算数
25310	東田 △△	higa@▲▲.jp	42335	やさしい英文法

```
SELECT L.会員番号, M.会員名, M.メールアドレス, L.図書番号, B.図書名
FROM 貸出表 L, 図書表 B, (1)
WHERE L.図書番号 = B.図書番号
AND L.会員番号 = M.会員番号
AND (2)
AND 返却日 (3)
```

設問5 会員が希望する図書が貸出可能であるかどうかを調べるために、希望する図書名の一部を指定して貸し出されていない図書の一覧を図書番号、連番順に表示するためのSQL文を作成した。空欄(1)～(3)をうめなさい。なお、図書名の一部には、'楽しい音楽'を指定する。

```
SELECT B.図書番号, U.連番, B.図書名
FROM 図書表 B, 図書一意表 U
WHERE B.図書番号 = U.図書番号 AND B.図書名 (1) AND (2)
(SELECT * FROM 貸出表 L
WHERE L.図書番号 = U.図書番号 AND L.連番 = U.連番 AND L.返却日 (3))
ORDER BY B.図書番号, U.連番
```

設問6 蔵書の整理のため、2冊以上ある図書を表示するためのSQL文を作成した。空欄(1)、(2)にあてはまる適切なものを解答群から選び、記号で答えなさい。

```
SELECT B.図書番号, B.図書名, (1) AS 冊数
FROM 図書表 B, 図書一意表 U
WHERE B.図書番号 = U.図書番号
GROUP BY (2) HAVING (1) > 1
```

解答群

- | | |
|-------------------|-------------|
| ア B. 図書番号 | エ COUNT(*) |
| イ B. 図書番号, B. 図書名 | オ COUNT(連番) |
| ウ B. 図書名 | カ MAX(図書番号) |

[I] 関連用語と情報活用 解答用紙

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

1		2		3		4		5	
6		7		8		9		10	

各2点 20点

【2】

1	ビット	2	ナノ秒	3	台	4		5	日
6	回	7	文字	8	¥	9		10	ミリ秒

各2点 20点

【3】(1)

設問1	(1)		(2)				
設問2	(1)		(2)		(3)		(4)
設問3	(1)		(2)		(3)		
設問4	(1)		(2)		(3)		
設問5							

設問ごとに各3点 15点

【3】(2)

設問1	(1)		(2)		(3)		(4)
設問2	(1)		(2)		(3)		
設問3	(1)		(2)		(3)		
設問4	(1)		(2)		(3)		
設問5	(1)		(2)		(3)		

設問ごとに各3点 15点

【4】

設問1							
設問2	(1)		(2)		(3)		(4)
設問3	(1)			(2)			
設問4	(1)		(2)		(3)		
設問5	(1)		(2)		(3)		
設問6	(1)			(2)			

設問ごとに各5点 30点

[I] 関連用語と情報活用 審査基準

選手番号		得点	
------	--	----	--

【1】

1	ウ	2	イ	3	ア	4	エ	5	ウ
6	イ	7	エ	8	ウ	9	ア	10	エ

各2点 20点

【2】

1	6	ビット	2	22	ナノ秒	3	5	台	4	0.96	5	7	日
6	45	回	7	46,080	文字	8	¥ 500,000	9	137148	10	37	ミリ秒	

各2点 20点

【3】(1)

設問1	(1)	ア	(2)	オ									
設問2	(1)	エ	(2)	ア	(3)	オ	(4)	カ					
設問3	(1)	ア	(2)	ウ	(3)	イ							
設問4	(1)	エ	(2)	カ	(3)	オ							
設問5		ウ											

設問ごとに各3点 15点

【3】(2)

設問1	(1)	DAY	(2)	DATE	(3)	+1	(4)	-1
設問2	(1)	MATCH	(2)	E3	(3)	4		
設問3	(1)	FLOOR	(2)	H3, J3 (別解) J3, H3	(3)	G3, I3 (別解) I3, G3		
設問4	(1)	COUNTIF	(2)	\$L\$3:\$L\$33 (別解) L\$3:L\$33	(3)	"*"		
設問5	(1)	SUM(B21:B22)	(2)	ROUNDDOWN	(3)	VLOOKUP		

※設問5(1)「:」は「,」も可。

設問ごとに各3点 15点

【4】

設問1		イ						
設問2	(1)	ウ	(2)	エ	(3)	イ	(4)	ア
設問3	(1)	INTO	(2)	VALUES				
設問4	(1)	会員表 M	(2)	貸出日 + 7 < 40026	(3)	IS NULL		
設問5	(1)	LIKE '%楽しい音楽%'	(2)	NOT EXISTS	(3)	IS NULL		
設問6	(1)	エ	(2)	イ				

設問ごとに各5点 30点